

## お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、厚生労働省が提供する匿名レセプト情報、匿名特定健診情報を利用した疫学研究を実施しております。

この研究の内容を詳しく知りたい方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】 本邦における帯状疱疹及びハント症候群の発症率の推移とリスク要因及び予後要因解明に関する医療情報データベースを用いた疫学研究

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院

【研究機関の長】 杉山隆（病院長）

【研究責任者】 三宅 吉博（疫学・公衆衛生学）

### 【研究の目的】

厚生労働省が保有する NDB(ナショナルデータベース)のレセプト、特定健診のデータを活用し、帯状疱疹およびハント症候群の発症率を都道府県別市町村別男女別に調べます。さらに、帯状疱疹およびハント症候群の発症リスク要因として、高血圧、脂質異常症、糖尿病が関連しているかについて、また、これらの疾患が帯状疱疹及びハント症候群の予後不良に影響するかどうかを調べます。世界でも最大規模級の医療情報データベースを用いることで統計パワーを高め、発症頻度の少ない合併症のリスク要因について解析を行います。

### 【研究の方法】

（対象となる方）全国民。疾患の定義には、NDB に登録されているレセプトデータ 225 億件、特定健診データ 3.5 億件のうち、2013 年 4 月から 2023 年 3 月の間のデータを活用します。

（利用する情報）帯状疱疹、ハント症候群、高血圧、脂質異常症、糖尿病に関わる処方歴や医療行為（特定健診のデータもある方は）BMI、血圧等の健診データ等、帯状疱疹あるいはハント症候群のリスク要因、予後要因と考えられる変数及び交絡因子と考えられる変数

**【研究について】**

この研究は、愛媛大学の「トップクラスの拠点形成：ヘルスデータサイエンス・疫学研究ユニット」の活動の一環として実施しております。

**【個人情報の取り扱い】**

厚生労働省が提供するデータには、個人をただちに識別特定できる情報は含まれていません。データは愛媛大学で厳重に保管・管理いたします。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、**【お問い合わせ先】**までご連絡ください。

**【お問い合わせ先】**

愛媛大学大学院医学系研究科 疫学・公衆衛生学 三宅 吉博

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5283